

大相撲沖縄場所 開催記念イベント

なかぐすくびょうあと

世界遺産中城城跡

横綱白鵬土俵入りの



平成二十八年
冬巡業

魂

平成28年 12月17日(土)

開場:午前8時30分
開演:午前10時30分

場所 世界遺産中城城跡

《入場料》
大人400円
高校生以下無料

※横綱白鵬の怪我・その他諸事情により出演出来ない場合は代役の横綱が出演致します。

特別協力 大相撲沖縄場所実行委員会
中城城跡共同管理協議会
中城和宇慶護佐丸太鼓

後援

中城村教育委員会・沖縄テレビ放送・琉球朝日放送
NHK沖縄放送局・琉球放送・沖縄タイムス社
琉球新報社・エフエム沖縄・ラジオ沖縄



■主催:中城村大相撲土俵入り実行委員会 ■共催:中城村・中城村商工会
■お問合せ:事務局 ☎098-895-2131 内線301 当日 ☎080-3960-5633



横綱白鵬

白鵬 翔(はくほう しょう、1985年3月11日生まれ)
 モンゴル国ウランバートル市出身の第69代横綱(2007年7月場所)
 本名はムンフバティーン・ダワージャルガル 身長192cm、体重155kg。

2001年3月場所に初土俵を踏み、2004年5月場所です新入幕となる。
 19歳1か月での新入幕は貴花田(後の横綱・貴乃花)、北の湖、貴花田(後の大関・貴ノ花)に次ぐ当時史上4位の若さであった(外国人力士としては史上1位の若さ)。
 入幕1年目にして横綱最有力候補と目され、2005年1月場所は新三役(西小結)で魁皇、千代大海の2大関を破って11勝4敗の好成績を挙げ、初の技能賞を受賞した。
 3月場所は関脇に昇進し、直近の2場所で12勝3敗・11勝4敗の好成績を上げていた事から大関獲りの場所と目されたが8勝7敗と勝ち越しはしたものの、大関昇進を逃がした。
 その後しばらく怪我に苦しんだが2006年3月場所で13勝を挙げ横綱・朝青龍との優勝決定戦までもつれ込む活躍で大関に昇進した。
 その後、3度目の綱取りにて第69代横綱となる。2010年には歴代二位となる63連勝を達成。
 2015年1月場所では危なげなく着実に白星を挙げていき、12連勝を迎えた13日目、10勝2敗で白鵬を追う大関の稀勢の里を押し倒して破り、大鵬が保持していた幕内最高優勝記録である32回を上回る33回目の優勝。歴代1位となった。
 得意技は右四つ・寄り。今後も数々の金字塔を打ち立てていこう。



中城城跡と護佐丸

中城城跡は、中城村の北側、標高150m~160mの石灰岩台地に立地し、6つの郭から成る連郭式の山城です。城壁は、琉球石灰岩の切石で積まれ、自然の岩石と地形的条件を巧みに生かしながら美しい曲線で構成されています。城は、14世紀後半頃、先中城按司によって西の郭、南の郭、一の郭、二の郭が築き上げられ、1440年中城に移ってきた護佐丸によって北の郭、三の郭が増築され、現在のグスクが完成したようです。
 そして、1972年5月15日沖縄の祖国復帰に伴い、国指定史跡となり、2000年12月2日「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録されました。

護佐丸は、恩納村にある山田グスクで生まれ、按司を務めた後、読谷村に移り座喜味グスクを築城しました。その頃の琉球は、南山、中山、北山の3つの国で構成されていましたが、第一尚氏王統時代の英雄とされる尚巴志とともに三山統一を成し遂げ、琉球王国の誕生と発展に大きく貢献したのが護佐丸です。
 その後、中城グスクの按司となり琉球王朝に忠誠を尽くしていましたが、勝連グスクの按司、阿麻和利の讒言によって起こった「護佐丸・阿麻和利の乱」において自害し、その生涯を閉じたと伝えられています。「按司」とは領主・支配者のことです。



記念お土産

数量限定の商品となります!
 は是非会場にてお買求め下さい!

横綱 白鵬の記念手形

2000円

※写真はイメージです



《臨時駐車場のご案内》

●成田山⇄徒歩約10分

※会場及び臨時駐車場には限りがあります。予めご了承下さい。

また、ご来場の際は公共交通機関をご利用下さい。